

文部科学省委託事業「平成29年度 住環境・就職支援等留学生受入れ環境充実事業」

「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクト

プレスリリース

—「よそ者・わか者・留学生」の目で地域活性化—

平成29年度 グローカル・リーダーシップ・プログラム

GLLPインターンシップ in 川場村 の実施について

「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクト
企画・運営責任者 結城 恵（群馬大学）

日頃、「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクトへのご理解・ご協力を頂き、ありがとうございます。この度、平成29年度GLLPインターンシップ in 川場村を実施することになりました。ご取材を頂けましたら幸いです。

- | | |
|----|---|
| 目的 | 少子高齢化による人口減少傾向が続く群馬県に、卒業後も群馬で暮らし・群馬で働く高度人材となる「留学生」の就職促進と受入れ環境整備を推進する。その結果として、「よそ者・わか者・留学生」の目で地域の持つ潜在的な可能性を掘り起こし、地域の持続可能性を高めるとともに、地域資源を世界展開に活かす方策を探る。 |
| 内容 | 少子高齢化による人口減少傾向が続く県内地域のひとつ、「川場村」で、県内外の大学に所属する留学生と日本人学生が、ともに川場村で1週間、寝食を共にし、川場村のフィールドワークと村内の機関・団体等で1週間のインターンシップを体験する。その経験を通して得られた知見をもとに、川場村の魅力発信、インバウンド観光を活性化する方策等を探る（注1）。 |
| 方法 | 「よそ者・わか者・留学生」の目で地域の持つ潜在的な可能性を掘り起こすため、県内外の異なる大学・異なる学部・学年、異なる国籍の学生たちが（注2）、川場村の営みを、フィールドワークを通じた「外からの目」とインターンシップを通じた「内なる目」の両眼で理解し、知見を深めることで、地域の持つ潜在的な可能性を掘り起こす。学生・地域・企業・大学関係者との対話（ダイアログ）を通して、地域の持続可能性を高め、地域資源を世界展開に活かす方策を練り上げる。 |

参加学生 全28名（留学生8名 日本人学生19名 外国につながりをもつ学生1名）

- 「グローバル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアム（注3）に加盟する高等教育機関より選出された外国人留学生・日本人学生16名（群馬大学・前橋工科大学・高崎経済大学・上武大学・高崎商科大学・関東学園大学生）
- GLLP学生リーダー（昨年度GLLPインターンシップを体験した日本人学生7名（東京大学・立教大学・群馬大学・群馬大学大学院生）
- GLLP学生アソシエイト（県外からの視点でGLLPに貢献）3名（東京大学・明治大学）
- GLLP効果検証スタッフ（GLLPの理念と方法論（注4）を熟知し、本事業の効果検証を図る博士課程の大学院生）2名（東京大学大学院）

参加学生は、平成29年7月8～9日、及び、8月5～6日のいずれも1泊2日の事前指導2回を受けたうえでGLLPインターンシップに参加する。これに加えて、学生リーダーは、昨年度より月2回程度の研修を積み重ねて、新規参加者のインターンシップのサポートを図る。

実施（前期）平成29年9月4日（月）～10日（日）6泊7日

（後期）平成29年9月18日（月）～24日（日）6泊7日

受入機関・団体（順不同）

川場村役場	利根郡川場村大字谷地 2390-2
永井酒造株式会社	利根郡川場村門前 713
株式会社田園プラザ川場	利根郡川場村大字萩室 385
株式会社雪ほたか	利根郡川場村大字生品 2670
青龍山吉祥寺	利根郡川場村門前 860
土田酒造株式会社	利根郡川場村川場湯原 2691
川場温泉かやぶきの源泉湯宿悠湯里庵	利根郡川場村川場湯原 451-1

問い合わせ先

本事業 企画・運営責任者

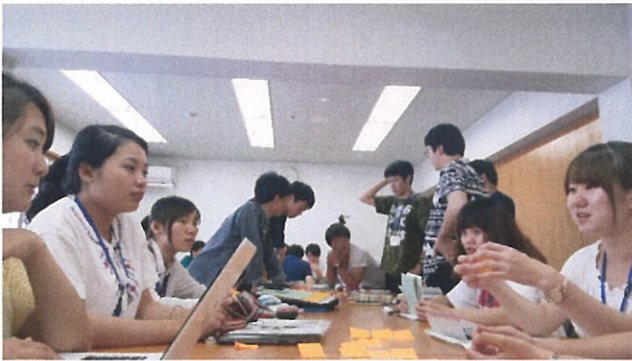
結城 恵（大学教育・学生支援機構 大学教育センター教授）

027-220-7382

週末・当日：080-2242-7998

※取材をいただける場合は、予め上記にご連絡ください（受入機関に直接連絡なされないようにお願いします）。記者様には、取材当日の実習配置一覧をお渡しし、前期・後期のそれぞれの取材ポイント等をお伝えいたします。

- 注1 対象となる川場村は2020年の東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されています。これに向けた外国人訪問客受入れ環境整備、及び、その後の川場村の魅力発信、インバウンド観光を活性化するために、平成28年に川場村と群馬大学は協定を結び、共同研究「東京オリンピック・パラリンピックのアメリカ選手団の選手団及び関係者の保養地としての受入れ環境整備に関する研究」(研究代表者：群馬大学 結城恵)を進めています。
- 注2 今年度のインターンシップに参加する留学生の国籍は、中国、インド、ベトナムです。
- 注3 群馬大学では、留学生の定着支援をオール群馬で取り組み、その実効性を高めようと、平成28年5月23日に関係機関と連携した「グローバル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアムを立ち上げました。現在、10 高等教育機関、7 行政機関、5 経済団体、4 国際交流協会、14 民間企業・団体等(うち1 金融機関)の40 機関・団体が加盟し、本学を事務局としてその充実を図っています。
- 注4 GLLPの理念と方法論は、「グローバル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアムの一部で、産官学金民関係者からなる「グローバル・リーダーシップ・プログラム(GLLP)研究会」でその理念を形成し、「よそ者・わか者・外国人」の目を活かした方法論として、社会調査の質的方法のひとつであるエスノグラフィを組み込んだものであり、群馬大学結城恵が中心となって開発しているものである。学生リーダーやGLLP効果検証スタッフは、群馬大学・東京大学・立教大学で方法論の講義を受け、その後も「単位にならない結城ゼミ」生としてその手法を活用し、卒業研究や地域貢献活動を展開している。(例)2017ミス日本酒群馬代表。
「グローバル・リーダーシップ・プログラム(GLLP)研究会」には、次の団体名が加盟し、積極的な議論が進められています。
- | | | |
|------|--|-------|
| 委員長 | 増田煉瓦(株)代表取締役 | 増田晋一氏 |
| 副委員長 | 永井酒造(株)代表取締役 | 永井則吉氏 |
| 加盟団体 | 群馬県・サンデンホールディングス(株)・
(一財)サンデン環境みらい財団・永井酒造(株)・
(株)田園プラザ川場・増田煉瓦(株)・グリーンリーフ(株)・
鳥山畜産食品(株)・(株)前田設備・(株)群馬銀行・群馬大学 | |



平成29年度参加学生と学生リーダーとが参加した事前研修の様子



平成28年度G L L Pインターンシップの様子。